

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票（評価対象年度:令和3年度）

施設の名称	名取市増田児童センター
指定管理者の名称	特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ
施設所管部課（室）	健康福祉部 こども支援課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者（管理受託者）	摘要
昭和47年4月3日～平成26年3月31日	直営		
平成26年4月1日～平成28年3月31日	管理受託	特定非営利活動法人子育て応援団ひよこ	
平成28年4月1日～	指定管理者	特定非営利活動法人子育て応援団ひよこ (H29.8.3名称変更 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ)	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ
	所在地	名取市みどり台三丁目19番地の4
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年0ヶ月）	
募集方法	公募 ・ 非公募	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市増田児童センター
所在地	名取市増田三丁目9番56号
設置年月	昭和47年4月
根拠条例等	名取市児童厚生施設条例、名取市放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例、名取市放課後児童クラブ実施条例、名取市児童館管理規則、名取市放課後児童クラブ実施条例施行規則
設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにするため児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設を設置する。
施設の内容	静養室、集会室、図書室、クラブ室、遊戯室等
開館時間	月曜日～金曜日：午前9時（小学校等休業日は午前8時）～午後7時
休館日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）
指定管理者が行う管理運営業務	放課後児童クラブ業務、自由来館業務、地域子育て支援拠点事業（一般型）、地域子育て支援事業（出張サロン）、名取市ファミリー・サポート・センター業務、地域活動クラブ業務、相談業務、各種行事及びクラブ活動の実施、自主事業の実施、児童センターだよりの発行（月1回、原稿等の企画構成）、小学校への長期休業時の利用周知
利用料金制度	採用の有無 有 無
	利用料金の名称

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度（Ａ）	前年度（Ｂ）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（％） （Ａ）／（Ｂ）
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
開催日数	294日	294日	295日	100.0%
延べ利用者数	44,397人	42,937人	54,945人	103.4%
利用者数（人／日）	151.0人／日	146.0人／日	186.3人／日	103.4%
主な増減原因	令和2年度に引き続きコロナウイルス感染症拡大に伴う利用制限のため、低い水準での利用者数で推移した。			

（注）対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

（１）収入

（単位：千円、％）

	評価対象年度（Ａ）	前年度（Ｂ）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（％） （Ａ）／（Ｂ）
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
指定管理料	47,660	42,160	41,359	113.0%
利用料金収入	－	－	－	－
その他	1,881	5,143	1,822	36.6%
収入計（ア）	49,541	47,303	43,181	104.7%

（２）支出

人件費	40,086	36,952	34,083	108.5%
施設管理費	2,635	2,407	2,746	109.5%
事業運営費	5,486	5,899	4,482	93.0%
その他	1,334	1,581	1,319	84.4%
支出計（イ）	49,541	46,839	42,630	105.8%

（３）収支

収支（ウ）＝（ア） －（イ）	0	464	551	0.0%
前期繰越収支差額	4,502	4,038	3,487	111.5%
次期繰越収支差額	4,502	4,502	4,038	100.0%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

令和2年度に引き続き、令和3年度も子育て支援拠点事業や放課後児童クラブ事業、小学生への放課後支援においてはコロナウィルス感染拡大防止を図りながら取り組んだ一年となったが、前年度のノウハウを活かしながら日常の遊びの充実や行事等の活動を行うことができた。

小学生の利用については、利用人数の増加によりクラブ室が増設され、前年度に比べのびのびと過ごすことができる環境を作ることができた。また、遊びのルールや日常の過ごし方、行事の企画など児童の声を大切にし、職員と一緒に話し合い、活動する機会が増え、児童の自主的な活動につなげることができた。

子育て支援拠点事業については、コロナ禍の影響により以前のように乳幼児親子が大勢集まっていた活動はできなかったが、行事の持ち方を工夫しながらママリフレッシュや制作活動、親子運動遊びなどニーズに応えられる行事や活動を行うことができた。

ファミリー・サポート・センター事業では、依頼件数の多少の増減はあるものの協会員へのコロナウィルス感染対策を促しながら、安心安全な活動を継続することができた。

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

利用者からは、コロナ禍での安全安心な環境づくり、日々の取り組みに好意的な声を多くいただいている。小学生児童も毎日楽しく過ごすことができているという声を多くいただいた。

中には「児童の日頃の様子がわからない」「コミュニケーションが図りづらい」などの声もあった。小学生の保護者に対してはお迎えの際に外でお待ちいただくことが多いため、その時間をコミュニケーションを図るチャンス捉え、日々の関りを大切にしていきたい。迎えの重なる時間帯に、スムーズな送り出しとの両立に課題を感じるが、職員間の連携し改善していきたい。また、施設環境の改善に関するご意見もあった。構造上の課題もあるが、安全面や衛生面についてはしっかりと改善していきたい。

行事等については充実を図る要望は以前から寄せられている。人数の増加とコロナ禍での実施には多くの工夫や検討は必要だが、子どもたちの健全育成につながる取り組み、これからも企画し、実施していきたい。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

今年度より増設したクラブ室の運用により施設管理の体制づくりを改めて行った。避難誘導の経路や職員の配置など死角が多い中での安全管理には課題を多く感じている。安全な環境で児童が遊びに向き合い、集中することができ、自主的な活動が実現できる環境づくりを大切に考えていきたい。

利用児童の特性・家庭課題の多様化に合わせ、それぞれに適切な支援へとつなげるために小学校や地域の関係機関と連携をより深めていきたい。また、中高生の利用も増えてきているため、中高生にとっての居場所にもなるよう取り組みを進めていきたい。

ファミリー・サポート・センター事業やホームスタートなどで様々なボランティアを依頼している。ボランティアをいただく方々にとっても日々の活動が充実したものになるようスキルアップや情報交換の機会を積極的に設けていきたい。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
		その他、関係法令等が遵守されている。	○	○
2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○	○
		業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。	○	○
	自主事業の 実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
	利用者の満足 度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	◎
	利用者の苦情、 要望等の把握	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	○
	とその対応	苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
	利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	○
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準(目安)】

評価		評価の考え方
◎	(優 良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良 好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「―」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

施設利用者が多く、放課後児童健全育成事業の実施場所も複数箇所で開催中で、安全で安心な施設管理を継続していることは評価できる。

また、ママリフレッシュや制作活動、親子運動遊びなど、コロナ化に配慮しながらも、その中で工夫を行いながら利用者のニーズを汲み取った事業を実施しているところも評価できる。

今後も、利用者の安全、安心の視点を優先した施設管理及び運営に努めていただきたい。